

根室市議会 10 月定例月議会

党議員の一般質問の主な内容

根室市議会 10 月定例月議会が 9 日から始まり、同日橋本竜一議員が、10 日に鈴木一彦議員が一般質問を行いました。今週の市議団ニュースでは、両議員の一般質問の主な内容を紹介します。

橋本議員の一般質問



一、開かれた市政運営と市民協働について

第10期総合計画では「理事者等が市民と直接意見交換を行う機会を設け」とし、主な取り組みに地域懇談会が掲載されています。橋本議員は、今年度が総合計画更新年度かつ石垣市政2期目の最終年でもあり、アンケートなどの定量的な評価に加え、市民との直接対話の機会を増やしていくことが重要であると感じます。市長の見解を問います。

した。

市長は、昨年も市内4会場で地域懇談会を開催するとともに、70を超える各種審議会や委員会等を通じて市民や関係者と意見交換を行っており、相互理解と信頼関係を深めるため、今後も様々な機会をとらえて市民の声を聴いていくと答弁しました。

二、根室市内における再生可能エネルギー発電施設について

橋本議員は、再生可能エネルギー発電施設の設置に関する条例制定について、現在策定中の、現行指導要領を基本とした条例制定により、これまでのガイドラインよりも、具体的にどういった点から規制強化を図られるようになるかと想定しているのか、市長の見解を求めました。市長は、地方自治体が制

定する条例には法的拘束力があり、指導要領と大きく違うと述べたうえで、制定に向けて、抑制区域や禁止区域などのエリア設定、災害時における行動計画の提出など、市としての意思表示や現行指導要領で不足している部分を事業者を求めるなど、一定の規制強化を図りたいと答えました。

三、医療・介護・福祉に関する諸課題について

橋本議員は、現在中止されている訪問入浴サービスの再開について、市長に問いました。

市長は、再開にあたって、専門性や人材確保、採算性の課題があり、現段階で明確に示せないが、再開の可能性も含め、人材育成や財政的な手法を検討しつつ、持続可能な体制づくりについて、看護師や介護職員を有する事業者と協議を進めており、市民の皆さんが住み慣れた自宅で、安心して入浴し、暮らし続けられるよう再開に向け努力していくと答えました。

鈴木議員の一般質問



一、「北方領土」問題について

省略

二、物価高騰対策について

激しい物価高騰が、市民生活に深刻な影響を及ぼしています。鈴木議員は、国が何らかの対策を講じていない中で、今こそ、国に先行して、根室市独自の物価高騰対策を行うべきではないかと市長に迫りました。

市長は、国の方向性を踏まえ、その上で、地域の実情に合わせて補完するなど、一体的に進められることが望ましいとの認識を示したうえで、現在、12月定例会議での調整を進めており、効果的な

対策を迅速かつ的確に対応してまいりたいと答弁しました。

三、教育問題について

(一) 学校給食調理施設整備について

9月25日に行われた市総合教育会議において、学校給食調理施設整備については「民間事業者による整備・運営の首相を見出す」との方向性が示されました。鈴木議員は、民設民営に至った経緯を確認した上で、学校給食法によれば、学校給食調理施設は自治体が設置・管理・運営し、その運営には地方公務員が従事することが望ましいのではないかと質問しました。

教育長は、文部省体育局長通知で、学校給食業務の運営の合理化について、地域の実情に応じ、民間委託等の方法により人件費等の経常経費の適正化を図ることを推進しており、学校給食業務の民間委託を禁ずるものではなく、当市においても民間委託が最善手と判断したと答えました。